



〔 28 番 五百部里梨議員 事務局長席に移動〕

五百部里梨事務局長



ご連絡いたします。まもなく本会議を再開いたします。ジュニア議員ならびに関係者の方はご着席ください。

〔全員着席〕

再開後の事務局長を務めます，28番 姿川中学校2年 五百部里梨です。

再開後の議事運営は副議長が行います。

それでは副議長，ご着席願います。

〔 32 番 嶋崎友香議員 議長席に移動〕

嶋崎友香副議長

副議長の嶋崎友香です。よろしくお願いたします。

ただいまから会議を再開いたします。引き続き一般質問を行います。

THE / 環境部会 20番 清原中学校2年 山口航さん,
35番 宇都宮白楊高等学校3年 宮本雄心さん。

20番 山口航議員

議長, 20番

35番 宮本雄心議員

議長, 35番

[20番 山口航議員, 35番 宮本雄心議員 登壇]



20番 山口航議員



20番, 清原中学校の山口 航です。「宇都宮市の緑化」についてお伺いします。

緑は, 目に優しく, 人々に安らぎを与えてくれます。さらに, 緑を増やすことによって, 地球温暖化や都市部の気温が上がってしまう「ヒートアイランド現象」を防いでくれます。加えて, 周囲の温度を下げ, エアコンなどの電化製品の省エネにつながり, 限られた資源を守ることができます。しかし, 残念ながら, 宇都宮市の中心部では, あまり緑を見ることができません。

そこで, 私たちは, 中心部のビルの屋上を利用して植物を植える, 「屋上緑化」の取り組みを提案します。

今回, 私たちが調べたところ, 宇都宮市の公共施設で屋上緑化をしているところは, 上下水道局と教育センター, 市役所本庁舎の3箇所しかなく, 非常に少ないことがわかりました。宇都宮市でもっと屋上緑化を進めていけば, もっと暮らしやすいまちになっていくと思います。

そのためには, 新しく建てるビルには屋上緑化をするように義務づければ良いと思います。また, 今建っているビルで屋上緑化をしていないところには, 緑のまちづくりを目的とした「都市緑化基金」からお金を出して, 緑化を進めていけば良いと思います。

併せて, 「都市緑化基金」を集めるために, 募金活動も行っていきたいと思います。その方法としては, 「募金のできる自動販売機の設置」を提案します。

そのような自動販売機は, 栃木県内にはいくつかありますが, 宇都宮市内には非常に少ないことがわかりましたので, それを市内にたくさん設置して, たくさんの人に募金を通じて緑化運動に関わってもらいたいです。

私たちは, 宇都宮市を緑あふれる, 暮らしやすいまちにしたいと考えていますので, これらについての見解をお伺いしたいと思います。

以上で質問を終わりにします。よろしくお願いいたします。

35番 宮本雄心議員

35番, 宇都宮白楊高等学校の宮本雄心です。「バイオ燃料の導入」について提案いたします。

最近、マヨネーズや果汁 100%のジュース、砂糖などの価格が上がっています。その原因を調べると「バイオエタノール」という、サトウキビやとうもろこしなどのバイオマス資源を発酵し、蒸留して作られる植物性のエチルアルコールという、新たな燃料エネルギーが関係しているということがわかりました。

また、現在、身近な環境で地球温暖化が問題になっています。その原因となる二酸化炭素を削減する一つの方法として、ここにもバイオエタノールをガソリンに混入した、バイオガソリンが利用されていることを知り、バイオ燃料に注目しました。



なぜ、バイオ燃料が二酸化炭素を削減するかというと、原料となる植物が育つ段階で吸収した二酸化炭素を、燃焼時に再度排出していると考えれば、二酸化炭素排出量がゼロとなるから、ということがわかりました。

バイオガソリンを使用すれば、地球温暖化に繋がる二酸化炭素の排出量抑制に役立ちます。石油業界は、4月27日から首都圏50箇所のガソリンスタンドで、レギュラーガソリンと変わらない価格で、試験的に販売されています。東京都杉並区では、バイオガソリンを利用し、二酸化炭素の排出を削減させるために、6月1日から区が所有する車両157台のうち、普通乗用車4台と、清掃車11台の計15台で、バイオガソリンを利用し、燃費や二酸化炭素削減効果などデータを分析した上で、本格的に導入するかどうか検討しているそうです。

栃木県には、まだ、バイオガソリンを販売している、ガソリンスタンドはありませんが、国や県、企業に積極的に働きかけをお願いするとともに、宇都宮市も、公用車にバイオガソリンを始めとする新たな燃料エネルギーを導入することを検討くださるよう提案いたします。

最初は費用がかなりかかるとは思いますが、「環境にやさしいまち“うつのみや”」を未来に引き継いで行くことは、お金にはかえられない大切なことだと思います。何よりも、北関東最大の都市である宇都宮市が先頭を切らなければいけないと思います。

以上で質問を終わります。よろしくお願ひします。

栗田健一都市開発部次長

議長，都市開発部次長

嶋崎友香副議長

都市開発部次長

〔栗田健一都市開発部次長 登壇〕

栗田健一都市開発部次長

環境問題を真剣に考え、「市中心部の屋上緑化について」のご提案をいただき、ありがとうございます。

それでは、山口議員のご質問にお答えいたします。

まず、「屋上緑化の義務化」及び「都市緑化基金の活用」についてであります。東京や大阪など、ビルが建ち並ぶ大都市では、潤いのある都市景観の形成や、ヒートアイランド現象を緩和するため、一定面積以上の建物を建てる場合に、建物の屋上や壁面も利用し、緑化することを義務づけております。

本市といたしましても、都市部の気温を下げるために、屋上を緑化することは有効な手段であると受け止めております。この「屋上緑化」につきましては、建物の所有者が自発的に行うことが望ましいと考えておりますが、義務化が良いのか、他の手法はあるかなど、都市緑化基金の導入を含め、今後、検討してまいります。

次に、「都市緑化基金を集めるために募金のできる自動販売機の設置」についてであります。既に栃木県内には、緑の募金や、盲導犬育成の募金を集めるため、「募金のできる自動販売機」が設置されております。市民が気軽に募金できる仕組みとして、大変良い提案ですので、本市といたしましても、今後、都市緑化基金のために募金のできる自動販売機の設置について自動販売機の入れ替えや新たに設置する場合に進めてまいります。



齋藤幸男環境部次長

議長，環境部次長

嶋崎友香副議長

環境部次長

〔齋藤幸男環境部次長 登壇〕

齋藤幸男環境部次長



地球温暖化について危惧し、宇都宮のことを大切に思う宮本議員のご質問に感心いたしました。

それでは、「バイオ燃料の導入について」のご質問にお答えいたします。

本市では、市民・事業者・市が一体となって、宇都宮地域全体の温室効果ガス削減を推進するため、本年2月に地球温暖化対策に関する基本方針を定めた「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」を策定いたしました。この計画では、平成24年度における温室効果ガスの排出量を平成15年度と比べて、17%削減することを目標としています。議員ご提案のバイオ燃料につきましては、温室効果ガスの排出量を削減し地球温暖化を防止するという点において、有効であると考えております。

本市では、これまでも、温室効果ガス削減のため、公用車へのハイブリッド車や、天然ガス車の導入などを行ってきておりますが、本年11月からはモデル事業として、一般家庭及び市内小中学

校から排出される廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を製造して、清掃車の燃料として活用してまいります。

今後とも、地球環境にやさしいバイオ燃料などのエネルギーの導入について、積極的に検討してまいります。

嶋崎友香副議長

以上で、THE /環境部会の質問を終わります。

